

じゅうもんじ

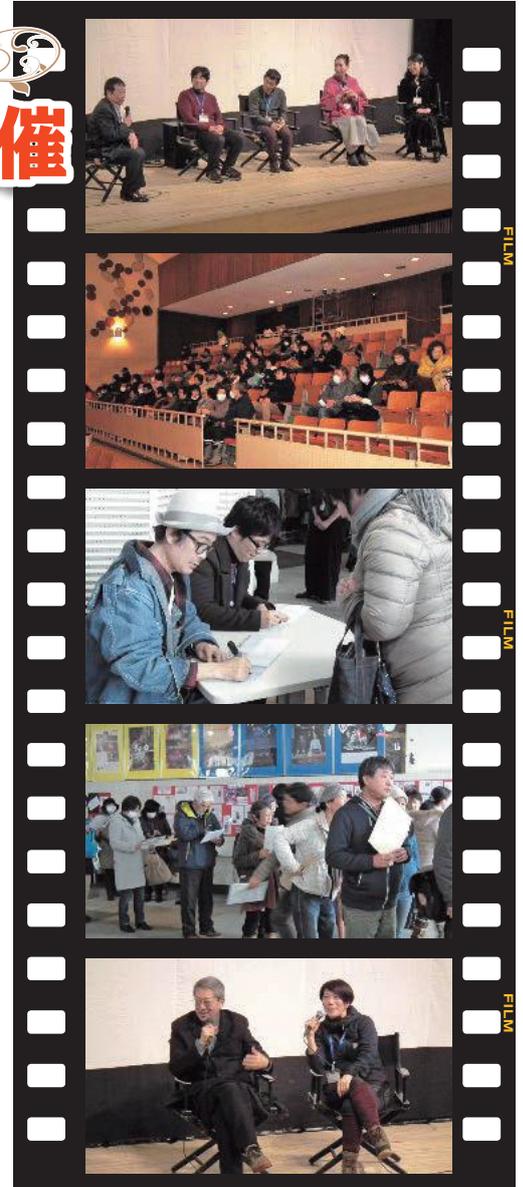
No.20

平成30年
3月号

地域局 だより

2/10
~12

第27回 あきた十文字映画祭開催



今年27回目となる「あきた十文字映画祭」が十文字文化センターで開催され、北は札幌、南は大分からと県内外から多くの映画ファンが詰めかけました。県内初公開でバラエティ豊かな作品を3日間で述べ1300人のお客様にお楽しみいただきました。中でも「パーフェクト・レボリューション」主演でゲストのリリー・フランキーさんは、ゲストトークで撮影の経緯や裏話を巧みな話術で盛り上げてくださいました。

2/17

十文字の雪まつり 2018 開催

冬の
十文字の
風物詩



十文字の冬を暖める「十文字雪まつり2018」が道の駅十文字で開催され、たくさんのお客様で賑わいました。ふれあい直売特製の豚汁やあまえこでのおもてなしをはじめ、餅つき、ガラガラ抽選会、大抽選会、麵・餅・お菓子まきなどが行われ、冬の日をお楽しみいただきました。

メインイベントとして予定していた「冬花火」は、当日荒天のため、2/24に延期して実施しました。

十文字地域づくり協議会の活動に幕

平成17年10月の市町村合併を機に「市の附属機関、かつ地域の課題を話し合い、地域が個性を發揮し発展できるような意見や提案を行うまちづくり機関」として、市内8地域に「地域協議会」が発足しました。
 平成22年4月からは「地域づくり協議会」と名称を改め、「地域づくり計画」の策定から実行までを主導的に行い、「元気の出る地域づくり事業」の審議・提案も行う等、地域づくりにおける重要な役割を担ってきました。
 平成30年3月31日で地域づくり協議会は終了します。今号では「十文字地域づくり協議会」の足跡を振り返ります。

十文字地域協議会 第1期

■任期 平成18年1月28日～平成20年1月27日
 ■委員 15人
 (公募5人/団体推薦5人/識者5人)
 ■主な取組み
 市町村合併後の十文字地域のまちづくりについての協議のほか、「新市基本設計に関する事項」「十文字地域内の小中学校の統合」など新市の設計に関わる諮問や、「生活バス路線廃止」への対応等を協議し十文字地域からの意見・要望を市長に答申しました。

十文字地域づくり協議会 第1・2期

■任期 平成22年4月1日～平成24年3月31日
 平成24年4月1日～平成26年3月31日
 ■委員 15人(公募4人/地区会議4人/団体推薦3人/識者4人)
 ■主な取組み
 これまでの地域協議会での取り組みの他、平成22年度に策定した「十文字地域づくり計画」に基づき、平成23年度から25年度までの3ヵ年、「くらしやすさNo.1 人と恵が交わる十文字」を基本目標に、「十文字大好き!ふれあい事業」「未来につなぐまち創り事業」「地区会議支援事業」の3事業を軸に、各事業を計画・実施しました。
 「じゅうもんじ地域局だより」も平成23年11月に第1号を発行。地域の情報を伝え続け今回第20号を迎えました。その他多くの事業が現在も続いています。

十文字地域づくり協議会 第3・4期

■任期 平成26年4月1日～平成28年3月31日
 平成28年4月1日～平成30年3月31日
 ■委員 15人(公募5人/地区会議4人/団体推薦3人/識者3人)
 ■主な取組み
 「第2期十文字地域づくり計画」に基づき、平成26年度から29年度までの4ヵ年、各事業を計画・実施しました。平成27年度には委員発意による新たな事業として「十文字まるごとマルシェ」を開催。未来につなぐまち創りを目指した取り組みは現在も続いています。

十文字の記録づくり (H26年度)

十文字地域に伝わる「仁井田音楽」や「今泉祇園囃子」をはじめとする民俗芸能等を後世に伝えるDVDを作製。今後広く活用されることが期待される。



十文字まるごとマルシェ (H27年度～)

「医」「食」「住」に恵まれた「十文字」をPRし、若い家族の定住促進を目指す事業として開催。地域で活躍する若者を巻き込み、広く地域の魅力を発信するイベントとなっている。



地域づくり協議会の終了にあたって

十文字地域づくり協議会会長 高橋 純

地域づくり協議会は平成30年3月末をもって終了いたします。
 地域づくり協議会(旧地域協議会)は、それぞれの地域が個性を發揮して発展できる様に地域住民が主体となって市長に対して意見や提言を行うまちづくり機関として活動してまいりました。
 これまで15人の委員が十文字地域の発展になることを願って提案した37事業を計画・立案・実行し、事業の検証もして参りました。今後も継続していく事業もありますが、更に住みよい地域を作っていくために、地域づくり協議会終了後も、住民目線に沿った住民主体による議論の場が必要だと思います。
 さて、地域づくり協議会の二期目から会長を務めさせていただきましたが、地域協議会時の故佐藤逸郎会長、また初代地域づくり協議会会長の羽川助助様には十文字地域づくり協議会の基盤を作って頂き大変感謝いたしております。ありがとうございます。
 そして、今まで長年副会長としてこの会を支えてくださいました高階房夫様にもお礼を申し上げます。ありがとうございました。
 最後に、一緒に最後まで提言や意見を言ってくださり、地域を良くしようとご尽力くださいました委員の皆様、色々とアドバイスをしてくださいました十文字地域局職員の皆様にも感謝申し上げます。本当にありがとうございました。
 これからも住みよい地域を作っていくために共に頑張りたいと思います。

十文字地域協議会 第2期

■任期 平成20年1月28日～平成22年1月27日
 ■委員 15人
 (公募5人/団体推薦5人/識者5人)
 ■主な取組み
 第1期に引き続き、十文字地域の課題解決や発展に向けての協議を行いました。平成21年3月に策定された「横手市都市計画マスタープラン」に対しては十文字地域のまちづくりの方針について意見しました。
 また「ごみ処理施設統合整備事業」については、新ごみ処理施設(現クリーンプラザよこて)の整備計画に対して意見しました。

←花のまちづくり事業 (H23年度～)
 花壇整備により地域の景観美化を推進するため「花のあるまちづくり」を推進する団体へ花苗を提供。毎年、数団体が全県花壇コンクール入賞するなどの成果もあり、環境美化の意識向上につながっている。



←ふるさとカレンダー (H23年度～) →
 “十文字の良さ”を再確認してもらうことをめざし、十文字のお宝写真を掲載したカレンダーを作成・配布した。当初は写真を公募することで“地域のお宝”の発掘にもつながった。



←じゅうもんじ音楽祭 (H24年度～)
 国内外で活躍されている“地元ゆかりのある演奏家”を招聘し、市民が生の音楽に触れる機会を提供。第4回にはテノール歌手として第一線で活躍している中鉢聡さん(湯沢市出身)をゲストに迎えるなど、毎回多彩な顔ぶれで好評を得た。



今後の事業と地域づくりについて

平成30年度以降も多くの事業は継続いたします。各事業の詳細につきましては、その都度地域の皆様にお知らせいたしますので、今後ともよろしくお願いたします。
 また、今後の「地域づくり」は、概ね小学校単位で組織されている「地区会議」や「地区交流センター」を主体に推進して参ります。「補助金制度の活用」や「新たな組織づくり」については、今後説明会や勉強会を開催する等ご支援して参りますので、一層のご協力をお願いいたします。

2/3 童っこの雪まつり

植田小学校グラウンドを会場として恒例の雪まつりを開催し、多くの住民で賑わいました。子どもたちは雪中宝探しやそり遊びのほか、校長先生や地域のみなさんと一緒に神事やどんど焼きにも参加し、冬の1日を元気いっぱい楽しみました。
 今回も植田小の子どもたちによる手作り灯ろうがまつりに暖かさを添えてくれました。




2/10・11 第35回B&G杯争奪 中学校選抜招待 バasketボール大会

今年で第35回を数えるB&G杯争奪中学校選抜招待バスケボール大会が十文字中学校体育館を会場に開催されました。今回は県外からの2チームを含む、男女11チームを招待し熱戦が繰り広げられ、迎え撃つ十文字中学校は男子が優勝、女子は5位となりました。

- 【男子成績】5チーム出場
 優勝 十文字中学校
 準優勝 大曲中学校(大仙市)
- 【女子成績】8チーム出場
 優勝 秋田東中学校(秋田市)
 準優勝 天王中学校(潟上市)



2/17~25 手漉き十文字和紙 紙漉き・作品づくり教室

江戸時代から続く歴史のある「十文字和紙」の体験教室を西地区館で開催しました。
 2月17、18日に十文字和紙職人・佐々木清男さんのご指導のもとで行った紙漉きでは、原料となる楮(こうぞ)から十文字和紙ができていくまでの工程について学んだあと、実際に紙漉きを体験。翌週2月24、25日には泉川祐子さんを講師に、自分で漉いた紙を使っての作品づくりに挑戦し、桃の節句にちなんだ「ひな飾り」を作りました。
 和紙づくりの大変な作業を知っていただき、十文字和紙の手触りや風合いなどを感じていただく機会となりました。



3/1 市民参加型 農業フォーラム

今年のフォーラムは秋田ふるさと農業協同組合代表理事組合長・小田嶋契氏を講師に迎え、「生産調整の歴史」を懐かしい農作業風景のスライドショーを交えながら振り返っていただきました。
 後半のパネルディスカッションでは地元農業士をパネリストに、一般参加者も交えての熱い討議が盛り上がりました。



十文字の小学生・中学生たちの大会結果

(※概ね市内の大会は各競技3位まで、全県以上の大会は6位までの入賞者をお知らせします)

- ◆2017バスケットボールジャパンカップU-14
(平成29年12月26～28日/このはなアリーナ(静岡県))
【男子】 第6位 十文字中
優秀選手賞 丹尾 久力
- ◆第21回マーチング&パトソンステージ東北大会
(平成30年1月28日/仙台サンプラザホール(宮城県))
【ステージパフォーマンス部門・小学生】
銀賞 一小スクールバンド ※全国大会推薦
- ◆第17回マーチングステージ全国大会
(平成30年2月17日/オリンパスホール八王子(東京都))
【D1・小学生の部】
優秀賞 一小スクールバンド ※2年連続出場
- ◆横手市民スポーツフェスティバル・スキー競技
(平成30年2月3日/赤坂総合公園)
【クロスカントリー6年女子の部】 優勝 渡部 星南(植小)
- ◆2018クロスカントリースキーよこて大会
(平成30年1月21日/赤坂総合公園)
【小学生の部】 第1位 小國 実咲(一小)
- ◆歩くスキーの集いinおおもり
(平成30年1月27日/大森多目的広場)
【小学6年生男子の部】 1位 柿崎 有飛(一小)
【小学6年生女子の部】 1位 渡部 星南(植小)
【小学5年生以下男子の部】 2位 柴田 翔生(一小)
- ◆クロスカントリースキー ジョヤサCUP
(平成30年2月25日/赤坂総合公園)
【小学6年生女子の部】 1位 渡部 星南(植小)
2位 佐藤 音羽(植小)
【小学4年生女子の部】 3位 佐藤 舞優(植小)

- ◆東北電力杯争奪ジュニアユースフットサル大会
(平成30年2月3日)
優秀選手賞 高橋 大輝(十中)
- ◆卓球ウインターカップ in おがち 2018
(平成30年2月18日)
【中学生女子の部】 優勝 鈴木 彩奈(十中)
- ◆第46回 JA 共済全国小・中学校交通安全ポスターコンクール
(平成30年2月2日)
佳作 川津 麗愛(十中)
- ◆平成29年度明るい選挙啓発ポスターコンクール
(平成29年12月28日)
優秀賞 近 瞳月(十中)
- ◆第58回秋田県児童生徒美術展
(平成30年1月6日)
推奨 鈴木 歩華(十中)
優良賞 井上 心結(十中)
- ◆平成29年度防火ポスターコンクール
(平成30年1月16日)
二席 佐藤 優奈(十中)
- ◆第2回中学生と高齢者の絆を深める取組み提案コンクール
(平成30年1月6日)
優秀賞 柴田 凌久・阿部 華穂・小貫 花音(十中)
- ◆第1回みんな de 読もう新聞コンクール
(平成30年2月1日)
【中学生の部】 最優秀賞 藤川 美涼(十中)
優秀賞 佐々木彩海(十中)



第33回首都圏十文字会総会・懇親会のご案内

毎年、多くの首都圏在住の十文字出身の皆様にご参加いただいております。首都圏にお住いのご家族、ご親類がいらっやいましたら、是非お知らせ願います。

日 時：平成30年7月7日(土)
受 付：午前11時より 総会開始：午前11時50分より
会 場：浅草ビューホテル(東京都台東区西浅草3-17-1)
連絡先：まちづくり推進部十文字地域課
電話 0182-42-5111
首都圏十文字会 三輪方 電話 080-3521-0741

交通安全旗をご寄贈いただきました

1月31日、十文字ライオンズクラブの柿崎孝一会長、鈴木健悦事務局長より、交通安全旗150枚をご寄贈いただきました。交通安全協会4支部に配布し、地域の交通安全対策に活用させていただきます。誠にありがとうございました。



十文字地域の統計(平成30年2月末日現在)

人口 12,636人(男 6,001人 女 6,635人)

世帯数 4,609戸

新入学児童
の人数

第一小	男33人	女28人
第二小	男 6人	女 6人
植田小	男 5人	女 0人
睦合小	男 6人	女 9人



十文字地域版 暮らしのカレンダー

4月1日(日)	春の火災予防運動 地域内防火パレード
6日(金)	十文字地域4小学校入学式 十文字中学校入学式
15日(日)	地域一斉清掃クリーンアップ
4月下旬~5月上旬(予定)	十文字観桜会(会場:梨木公園ほか)
5月30日(水)	チャレンジデー
6月24日(日)	伝達講習会(会場:志摩河川敷)
6月下旬~7月上旬(予定)	十文字さくらんぼまつり
7月8日(日)	十文字地区消防訓練大会(会場:志摩河川敷)
29日(日)	横手市消防訓練大会(会場:山内地域)
7月下旬(予定)	狸々まつり(会場:十字の里)

※急遽日程等が変更となる場合もございますのでご了承ください。

毎月3・7・0のつく日は十文字の朝市

編集後記

地域づくり協議会が年度末をもって終わります。今まで地域のためにと微力ではありましたが委員15名で活動してきました。これからの地域づくりは地区会議や地区交流センターが担うこととなります。西地区では地区交流センターが平成29年度から活動しておりますが、十文字・三重地区はまだ組織化されておられません。これからは人口減少や高齢化によるコミュニティの衰退が懸念されます。早い時期の交流センター化をめざし、十文字地域の発展のために頑張ってもらいたいものです。(高)